



フルーツバスケット



『PTAの存在意義を考える』

PTA会長 小林 恵子

皆様におかれましては、日頃よりPTA活動に対して、ご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。コロナ禍もようやく落ち着く方向にあり、学校行事もようやく通常実施となってきました。

年明けから能登半島地震が発生し非常に痛ましいことであり、心からお見舞いを申し上げます。被災地では厳しい冬の避難生活を送る中、子供たちは家族と離れ集団避難をする試みが始まっています。被災のショックも癒えないうちに親元を離れるのは心細く、不安や恐怖がある中、それでも前を向いて進もうとするその姿から私たちも学ぶことが多いのではないのでしょうか。

子供たちが夢や希望をもって新しい明日を歩んでいけるよう保護者と教職員が協働して応援していくことがPTAの意義だと思っています。しかし近年ではPTAの在り方や活動を見直すべきだという声もあり、ネガティブなイメージが強い傾向にあるようです。しかし、私がこの一年間PTA会長として様々な活動に参加してきて、まずは学校との距離感が縮まり、子供たちがどのような環境や空気の中で学校生活を送っているのか、保護者はもちろん教職員の方や地域の方がどのように関わって下さっているのかなど近くで感じることで、非常に貴重な有意義な時間でした。青年期の後期である高校生の子供たちは、これから大人になっていく過程で最も大切な時期を迎えていると思います。ぜひ子供たちの笑顔のため、今後ともPTA活動へのご協力をよろしくお願いいたします。



『無限の可能性が・・・』

校長 望月 公

令和五年度の本校の諸活動を、滞りなく実施できました。小林恵子PTA会長の優れたリーダーシップと、保護者の皆様の意欲的な取組に、心から感謝いたします。

さて、平成二十七年に開校した本校は、来年度いよいよ十年目を迎えます。これまでに二〇〇人を超える卒業生を県内外の企業等に送り出しています。「遠くから自転車通学していた〇〇君は、今も顔を真っ赤にしながら通勤しているかな」とか、「親に告げずに遠くまで電車で遊びに行ってしまう〇〇君は、今は落ち着いて仕事しているかな」とか、開校当時の卒業生のことを思い出すと、不安な要素もあつたりします。しかし、同窓会で数年前ぶりに顔を合わせたときに、びっくりするほど立派に成長した青年になっていたりと感激します。彼らが、今日もそれぞれの職場で輝きながら活躍している姿を思い描いて、私自身が鋭気をもらいながら働き続けているところです。

今年度の卒業生は、三十六人です。この三年間、彼らは産業現場等における実習を段階的に経験し、「働く力」を身に付けました。そして、この春に新たな門出となるのですが、十八才はまだまだ幼さが多分に残る年齢です。「働く力」に加え、「働き続ける力」を強くしていくためには、さらにサポートが必要です。保護者の皆様には、どうか始まったばかりの社会人一年生を暖かく支援し、さらに大きく逞しく導いてください。

The sky is the limit! 彼らの可能性は、まだまだ無限大だと信じています。

新聞の由来：笛吹といえは数々のフルーツ。PTAも色々な思いをもった方々が集まり一つにまとまることで価値を高め、より良く運営できるという思いが表されています。

TOUKADAI GAKUEN 9th ANNIVERSARY

桃 翔 祭

2023 9 15・16



文化祭

「NEVER GIVE UP 最後の一秒まで青春を楽しめ！」のテーマの下、体育祭は、青春のエネルギーが会場に溢れ、見ている者をワクワクさせる熱い取組でした。文化祭は4年ぶりに午後の部が『一般開放』され、卒業生や地域の方などが多数来校されました。模擬店が賑わいをみせ、自分たちの考えたゲームや作った料理が喜ばれる場面を目の当たりにするにつけ、皆は仲間と作り上げた充実感を味わえた様子でした。



PTA バザー

ご協力有難うございました。売り上げは、皆の学校生活の充実に活用してもらいます。

桃花ダイスキマーケット「秋の大収穫祭」



今年の大収穫祭も天気に恵まれ大盛況でした。開門と同時に次々と駐車場が埋まっていき、受付には長蛇の列ができていました。緊張している様子だった生徒たちも、販売開始とともに各自手際よく役割をこなし、大きな声で案内をしたり、お客様の荷物を運んだり、生き生きとした表情が印象的でした。



爽やかな秋晴れの中、7百人もの来場者を迎えてスタートした秋の大収穫祭。この日のために心を込めて作った商品が所狭しと並んでいました。一年生だけでなく、皆が最初は遠慮がちな接客でしたが、慣れるに従い、生き生きと自分たちの仕事をこなしていく姿に逞しさを感ずりました。荷物が多くて困っている人に運搬サービスを勧めたり、大行列の整理をしたり等、機転を利かせた臨機応変な取組が随所に見られました。北風が強く、外の係は大変だったとおもいますが、会場の賑わいと、お客様と生徒たちの笑顔が、大成功を物語っていました。



PTA 駄菓子屋

PTA 模擬店では、大人たちが懐かしく楽しみ、子どもも思わず買いたくなるお店として『駄菓子屋』を選びました。当日はとても寒い気候



でしたが、私たちの予想以上に大盛況でした。商品を完売でき、とても嬉しく思っています。私たちも販売のやりとりを十分楽しめました。皆様のご協力のおかげです。文化事業部長 芦澤千恵



1日目



マングローブ体験 (カヤック)

コロナ禍が明けた最初の修学旅行！体調管理の賜物で全員が参加。沖縄の悲しい歴史、自然の豊かさ、地域文化の違い。体験で学んだことや仲間との思い出を人生の糧に。

37人全員の旅



ANA 飛行機

あたりまえに勉強できることに感謝し、充実した学校生活を送りましょう。



国際通り



3日目



修学旅行 in 沖縄



ひめゆり平和記念資料館



新緑青年公園

青春を楽しめ

2日目



美ら海水族館

記憶は一生の宝物



マリファレー



豊崎美ら SUN ビーチ



沖縄の綺麗な海、豊かな自然、独自の文化に触れ、いろいろ感じるものがあったようです。

4日目

17才の思い出

青い海を見た感動を忘れないで

